

鹿岳

(かなだけ)(1015m)



当初予定していた登山口までバスが入れず手前の林道入り口から上ることに、足慣らしにその林道を30分ほど歩いたところに登山口が見えた。ひたすら登るだけで、下る場面はなく登って、登ってまた登る。それも結構急な坂が続く。眼前に岩山が見えるもなかなか辿り着けない。間もなく



梯子と鎖場が続くところに出る、なかなかスリル満点の道程だ。すると前に行く女性群の話が風のためか聞こえなくなった。道を間違えたかのような静けさがしばらく続く。そして一の岳頂上に。前日の大風が大気を吹き飛ばした勢



か見晴しは上々だ。上州三山の妙義、榛名、赤城に、荒船、両神、浅間、遠くに筑波山も見える。景色を堪能した後、一旦この岩峰を降り、二の岳



に向かう。これもなかなかのもので鎖場が続く。しっかり足元を確認して登る。大半の者はザックを置いていくが、男性軍は危機に備えザックをしっかりと背負って登る。数人は下で待機、二の岳も見晴しは上々。一の岳が眼前に低く見え、周りの新緑も栄え素晴らしい眺めだ。写真を撮った後一旦鞍部まで降り、ここで昼食を食べる。ここから大久保側に降りていくが、これの結構の急坂である。ようやく林道にでて一安心。バス待合場所に予定より早めに着く。



駐車場 8:15-登山口 8:45-一の岳 10:30-二の岳

11:00(昼食) 12:00-マメガタ峠 13:15-大久保

13:45-14:00 駐車場 牛島記

